

表示・起源分析技術研究懇談会第26回講演会

期日 2022年3月10日(木) 12.40~17.00
開催形式 ハイブリッド形式(対面20名程度+Zoomによるオンライン)
会場 フクラシア東京ステーション〔東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5階・6階, 交通: 東京駅(日本橋口), 大手町駅(B6出口)からすぐ〕
https://www.fukuracia.jp/tokyo/guide/type_c.html
講演者と講演題目(仮題)

- ①「日本食品標準成分表」2020年版(八訂)の改訂について
表示・起源分析技術研究懇談会委員長
(国研)農研機構食品研究部門アドバイザー
安井明美 氏
- ②食品表示基準の動向について
(消費者庁食品表示企画課保健表示室
課長補佐(特別用途食品担当))
斎藤雅文 氏
- ③栄養成分等の分析方法等に係る調査検討事業調査報告について
(国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部
食品分析・表示研究室長)
竹林 純 氏
- ④栄養成分等の分析法の現状について
(一財)日本食品分析センター多摩研究所
基礎栄養部 部長)
湖上賢一 氏

参加費 研究懇談会会員: 無料, 非会員: 3000円
申込締切 3月3日(木)
参加申込方法等の詳細は, 表示・起源分析技術研究懇談会HPを参照.
問合せ [E-mail: hyoji.kigen@gmail.com]

さい). ※ポスター発表受賞者は会費無料となります.
問合せ 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 W5-648
第59回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長: 中山二郎(九州大学)) [電話: 092-802-4736, E-mail: godo22.jsbbaw@gmail.com]
なお新型コロナウイルスの感染状況により, プログラム, 懇親会実施有無を変更する場合があります. さらに, オンラインにて開催する場合があります.

第59回化学関連支部合同九州大会参加 および研究発表募集

共催 (公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
期日 2022年7月2日(土) 9時~17時(予定)
会場 北九州国際会議場〔北九州市小倉北区浅野3-9-30, 交通: JR小倉駅より徒歩5分〕
大会ホームページ <https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>
発表申込期間 3月1日(月)~4月8日(金)
予稿原稿締切 5月13日(金)
発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ. ほか依頼講演(8件, 各支部推薦)
依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦
「溶存イオンのハンドリング~放射性金属イオンの精製・高純度イオン液体の合成~」(熊本大学) 大平慎一
発表申込方法 大会HP(<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)から, 指示に従って, 以下の申込必要事項をお送りください. お申込み後に, 受理通知のメールをお送りします. 通知がない場合は, 本合同大会事務局(農芸化学会西日本支部)(godo22.jsbbaw@gmail.com)にお問い合わせください.
参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料. 発表登録費は, ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む. 当日受付にて, お支払いください). 聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求めください(1冊: 1,500円).
授賞式・懇親会 7月2日 17:30(予定) 北九州国際会議場内にて. 会費: 4,000円(当日, 懇親会会場にてお支払いくだ

——以下の各件は本会が共催・協賛・ 後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

プラズマ分光分析研究会第114回講演会 —北海道の環境保全，健康科学における プラズマ分光分析の役割—

主催 プラズマ分光分析研究会
期日 2022年3月11日（金）
会場 東京工業大学田町CIC国際会議室およびZoomによる
オンライン
ホームページ <https://plasma-dg.jp/>
連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 沖野晃俊〔電話・
FAX: 045-924-5688, E-mail: office@plasma-dg.jp〕

日本顕微鏡学会第78回学術講演会

主催（公社）日本顕微鏡学会
期日 2022年5月11日（水）～13日（金）
会場 ビッグバレットふくしま
ホームページ <http://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2022/index.html>
連絡先 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-21-13 廣池
ビルディング4階2号室 日本顕微鏡学会事務局〔電話: 03-
6457-5156, FAX: 03-6457-5176, E-mail: jsm-post@
microscopy.or.jp〕

「分析化学」特集「高分子分析 —この10年の進歩—」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、高分子分析研究懇談会と共同で「高分子分析—この10年の進歩」と題した特集を企画しました。高分子材料の特性や分子構造を精密に分析することは、材料特性の発現機構の解明、精密な分子設計、さらには耐久寿命の予測などを行うための重要な基盤となっています。最近の分析機器の進歩やコンピューター技術の発展には目を見張るものがあり、これらの技術の進歩を再認識するために、今回の特集号を企画しました。

本特集号では高分子材料を対象とする、実試料の前処理、組成、分子構造、高次構造、構造と物性との相関、物性発現機構、および重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発や解析実例などについての論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細は「分析化学」誌12号またはホームページをご覧ください。

特集論文申込締切: 2022年2月15日（火）

特集論文原稿締切: 2022年4月15日（金）

「分析化学」年間特集「省」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する。転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところではあります。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切: 2022年4月22日（金）（第3期）

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第21回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2022年（第71巻）に第21回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

第82回分析化学討論会

—参加登録方法—

標記討論会については以下のように開催いたします。本討論会に参加される方（講演発表される個人会員の登壇者を含みます）は、全員参加登録をお願いします。なお、公開シンポジウム「食の安全と分析化学」については一般公開となります。当日専用受付を設けますので、そちらで参加登録ください。

討論会当日、参加証を提示されない方の入場はご遠慮いただきます。参加登録については、今回討論会よりアトラス社、Confitによる参加登録システムに変更となります。郵送、FAX及び電子メールでの受付は一切行いませんので、必ず参加登録システムをご利用ください。なお、現在実行委員会では対面での開催を原則として計画を進めていますが、開催形式等については新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽変更となる場合も想定されます。最新の情報や参加登録等の詳細については第82回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会HPと略）を必ずご確認ください。また、講演要旨集は討論会HP上で電子配布いたします。

【第82回分析化学討論会ホームページ URL】

<https://confit.atlas.jp/jsac82touron>

主催 (公社) 日本分析化学会
後援 国立大学法人茨城大学
後援 (一社) 水戸観光コンベンション協会

会期 2022年5月14日(土)・15日(日)

日程 5月14日：主題講演(口頭)、一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、産業界R&D紹介講演(ポスター)、依頼講演、ランチョンセミナー、懇親会、機器展示会
5月15日：主題講演(口頭)、一般講演(口頭、ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、高校生ポスター発表、依頼講演、ランチョンセミナー、機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 茨城大学水戸キャンパス

懇親会 5月14日(土)18時～20時(予定)

【参加登録方法】

以下の注意事項を熟読の上、参加登録を行ってください。なお、事前登録のお支払最終締切日は4月13日(水)です。

- 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
- 見積書、納品書、請求書は原則として発行いたしません。必要な方は、申込者において書類作成のうえ、返信用封筒(切手貼付)を同封して討論会事務局までお送りください。記名、捺印のみ行い返送します。送付先はメールにてお問い合わせください。

参加登録申込締切日(事前・通常)

事前：4月13日(水)厳守(いずれのお支払方法でも同じです。)

通常：事前登録締切日までに参加登録が完了していない場合は、すべて通常登録扱いになります。

※会期中でも参加登録は可能ですが、必ずご自身のパソコンから登録をお願いします。

参加登録料、懇親会参加料

1. 参加登録料

事前：会員9,000円、学生会員4,000円、非会員18,000円、非会員学生8,500円

通常：会員12,000円、学生会員5,000円、非会員21,000円、非会員学生9,500円

※会員、学生会員の参加登録料は事前・通常ともに不課税

扱いです。非会員、非会員学生の参加登録料は事前・通常ともに税込金額です。

2. 懇親会参加料

事前：一般(「学生会員、名誉会員」以外のすべての会員、非会員)10,000円、学生4,000円

通常：一般12,000円、学生5,000円

※懇親会参加料は事前・通常ともに税込金額です。

お支払方法

事前：クレジットカードまたは銀行振込

通常：クレジットカードのみ

※お支払方法の詳細については討論会HPをご参照ください。

(ご注意)

※会員には団体会員に所属する方を含みます。維持会員は会員扱いとなります。他の団体会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。

※名誉会員につきましては参加、懇親会ともご招待とさせていただきますが、ご参加の場合は参加登録手続きを行ってください。

【討論会参加登録料等領収書について】

参加登録料等の領収書は、PDFによる発行となります。決済完了後に参加登録システムよりダウンロードできます。

【Web版講演要旨集の閲覧方法】

- 講演要旨集の閲覧については討論会HPをご参照ください。
- スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。予めご了承ください。

【講演申込登録をされた皆さまへ】

講演要旨本文提出締切日は3月9日(水)です。講演申込登録をされた方は、締切日までに必ず講演要旨ファイル(A4版1ページ、PDF)のアップロードをお願いいたします。詳細は討論会HPをご参照ください。締切日以降のアップロード・差替えはできません。

【口頭発表者の皆さまへ】

すべての口頭発表会場にプロジェクター、アナログRGBケーブル、PC切替器等を用意します。講演者は講演データの入ったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。

お知らせ

詳細は討論会 HP をご参照ください。

【ポスター発表者の皆さまへ】

本討論会の一般講演、若手講演、テクノレビュー講演（ポスター）、産業界 R&D 紹介講演ポスターの発表方法等は、討論会 HP をご参照の上、準備ください。

【Web 版講演要旨集の発行日について】

第 82 回分析化学討論会 Web 版講演要旨集の発行日は、5 月 2 日（月）です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、（公社）日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会 HP に 3 月下旬までに掲載予定です。

【討論主題（主題講演）】

第 82 回討論会では 5 件の討論主題を設定します。

1. 環境における放射性物質と分析化学
オーガナイザー：島田亜佐子（原子力機構）
2. 量子ビームと分析化学
オーガナイザー：山本博之（量研）、山口 央（茨城大理）
3. 地域から世界へ発信する電気分析化学
オーガナイザー：前田耕治（京工織大院工芸科学、電気分析化学研究懇談会委員長）
4. ヘルスケアと分析化学
オーガナイザー：池羽田晶文（農研機構）
5. 内山一美先生を偲ぶ
オーガナイザー：中益達朗（日大生産工）、下坂琢哉（産総研）、森岡和夫（東葉大）、中嶋 秀（都立大院都市環境）

※討論趣旨及び依頼講演は討論会 HP 上で公開します。

【産業界 R&D 紹介講演（ポスター）】

主催 （公社）日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5 月 14 日（土）、15 日（日）

会場 茨城大学水戸キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表、講演要旨は要旨集に掲載します。

【高校生ポスター講演】

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

趣旨 討論会会期中に「高校生ポスター講演」（茨城県教育委員会・茨城県高等学校文化連盟自然科学部会、後援申請中）を開催します。幅広い領域で活躍する分析化学研究者や学生との交流を通して、科学技術への関心をもっていただくことが本企画のねらいです。

期日 5 月 15 日（日）

会場 茨城大学水戸キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表。

【展示会・企業セミナー・バナー広告・講演プログラム集広告】

機器・カタログ出展およびランチョンセミナー・

バナー広告、講演プログラム集（冊子）広告

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として、展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー（ランチョンセミナー）を開催いたします。

【機器・カタログ展示会】

展示日時 5 月 14 日（土）・15 日（日）（ただし、15 日は 14 時までの予定）

会場 茨城大学水戸キャンパス（ポスター会場）

展示費用 1 小間：80,000 円（税別）、カタログ展示（A4 判サイズ基準）1 点：20,000 円、2 点：30,000 円（いずれも税別）

募集締切日 3 月 30 日（水）

【ランチョンセミナー】

日時 5 月 14 日（土）・15 日（日）12 時 10 分～13 時

会場 茨城大学水戸キャンパス（口頭会場）

開催費用 150,000 円（税別）

※セミナー運営に関する費用（昼食用弁当など）は別途。

募集締切日 3 月 23 日（水）

【バナー広告】

公開場所 第 82 回分析化学討論会 HP

掲載期間 2022 年 1 月～5 月

掲載料金 1 枠：1 月～5 月 50,000 円、
3 月～5 月 30,000 円（いずれも税別）

【講演プログラム集（冊子）広告】

発行日 5 月 14 日

掲載料金 A4 判白黒 1 頁 70,000 円、
A4 判白黒 1/2 頁 40,000 円（いずれも税別）

問合先・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-4（友野本社ビル）(株)明報社（担当：後藤）[電話：03-3546-1337, FAX：03-3546-6306, E-mail：info@meihosha.co.jp]

※展示会及びランチョンセミナーの内容は変更になる場合がございます。詳細は(株)明報社にお問い合わせください。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。なお、皆さまの宿泊先についてのアンケートを実施予定ですので、参加受付時には是非ご協力の程、お願いいたします。

【託児所開設について】

第 82 回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。詳細は討論会 HP をご参照ください。

【その他の会合】

【公開シンポジウム】

食の安全と分析化学

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

オーガナイザー：宮下 隆（キューピー）

日時 5 月 15 日（日）

会場 茨城大学水戸キャンパス

【ものづくり技術交流会 2022 in 関東】

主催 分析イノベーション交流会実行委員会、（公社）日本分析化学会関東支部

日時 5 月 13 日（金）

会場 茨城大学水戸キャンパス他

【各種お問い合わせ先】

討論会全般に関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。なお今般、討論会・年会にかかる運営が大幅に変更となった関係で回答までに相応の日数を要する場合がございますこと予めご容赦ください。

第 82 回分析化学討論会実行委員会事務局

E-mail：ml-82touron2022@qst.go.jp